

■ 観天望記（編集委員会から）

編集委員長 石垣（20期）

この会報が皆様のお手元に届くのは、春爛漫の頃だと思います。さて、青い春、「青春」とはいつまででしょうか。10代、20代、それとも若々しい気持ちがあれば永遠に青春でしょうか。「青」の持つ爽やかさと「春」の高揚感で、とても良い印象の言葉ですので、様々な場面で見ることができます。小生は今年還暦を迎えますが、「今、青春です！」とは言い難い年になってきました。青春の次は余り言われませんが、五行思想では「朱夏」「白秋」「玄冬」と続くそうです。子供も手が離れ、仕事もゴールが見えてきた年頃は何でしょうか。心身共に老けてくるので白秋？ 更に玄冬？ いや、まだ白くなって枯れたくはないです。気持ちは真っ赤（朱色）でエキサイティングな日々を送るぞ、という意気込みで「今、朱夏です！」と言いたいですネ。OB会の先輩を見渡すと、まさしく「朱夏」真っただ中の人達が沢山います。小生もそれに習い、朱夏を、人生を謳歌したいと思います。家に籠らず、やはり、ワングルらしく外に出て、五感を使って自然に触れたいです（酒を持参したら更にいいですネ）。



「そうだ、外、行こう！」

【もう一言】

タイトル「観天望記」は誤りではありません。「編集委員会から」はYWの主旨に沿って自然、季節、山、アウトドアなどに関連することを題材に書いてきました。何かそれに相応しいタイトルにしたいと日夜(?) 考えてきましたが、如何せん、創造力が欠落した還暦人間なので良いアイデアが出ません。ここはやはり、二次創造（小生の場合はどちらかと言うと模倣、パクリ）しかないと思い、「空を含めた大自然の動きを観て感じて、会報の記事を望む」ということで「観天望記」としました。皆様、今後とも宜しくお願い致します。